

緊自道第1号 市道六日町小栗山線ほか舗装工事

# 特 記 仕 様 書

## 【適用範囲】

本工事の施工にあたって受注者は、契約書に基づき、設計図書に従って施工するものとする。また、設計図書のうち仕様書については、本「特記仕様書」を適用し、「新潟県土木工事標準仕様書」を準用するものとする。

## ○施工条件関係

下記項目、事項のうち○印欄は、工事の施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。

なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明示項目	施工条件
I 工 程 関 係	1. 関連する別途発注工事あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工 事 名 :</li> <li>・ 予 定 期 間 :</li> <li>・ 工 事 名 :</li> <li>・ 予 定 期 間 :</li> <li>・ 工 事 名 :</li> <li>・ 予 定 期 間 :</li> </ul>
	2. 施工時期、時間、方法の制限あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時 期 :</li> <li>・ 時 間 :</li> <li>・ 方 法 :</li> </ul>
	3. 関係機関協議による工程条件あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協 議 内 容 :</li> <li>・ 完了予定時期 :</li> </ul>
	4. その他
II 用 地 関 係	1. 工事用地等の未処理部分あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処理見込時間 :</li> <li>・ 区 間 :</li> </ul>
	2. 仮設ヤードの指定あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場 所 :</li> <li>・ 期 間 :</li> </ul>
	3. その他
III 公 害 対 策 関 係	1. 公害防止の制限あり ( 騒音 ・ 振動 、 排出ガス 、 粉じん 、 水質等 ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施 工 方 法 :</li> <li>・ 作 業 時 間 :</li> </ul>

明示項目	施工条件
Ⅲ 公害対策関係	<div data-bbox="398 245 2107 344"> 2. 家屋等の調査の必要性あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方 法 :</li> <li>・ 範 囲 :</li> </ul> </div> <div data-bbox="398 344 2107 509"> 3. その他 </div>
Ⅳ 安全対策関係	<div data-bbox="398 509 2107 639"> 1. 交通安全施設等の指定あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通誘導警備員 : 交通誘導員 B      2人/箇所、    30日間配置 (60人日) (勤務実績提出の必要あり)</li> <li>・ その他施設等 :</li> </ul> </div> <div data-bbox="398 639 2107 770"> 2. 近接作業制限あり (    鉄道   、    ガス   、    水道   、    電気   、    電話等    ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内 容 :</li> <li>・ 工 法 制 限 :</li> <li>・ 作業時間制限 :</li> </ul> </div> <div data-bbox="398 770 2107 901"> 3. 発破作業あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保安設備及び保安要員 :</li> <li>・ 防 護 工 :</li> <li>・ 作業時間制限 :</li> </ul> </div> <div data-bbox="398 901 2107 1032"> 4. 防護施設 (    落石   、    雪崩   、    土砂崩落等    ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内 容 :</li> </ul> </div> <div data-bbox="398 1032 2107 1198"> 5. その他  交通誘導員については、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合や現場の状況により、これによりがたい場合は、監督員と協議すること。 </div>
Ⅴ 工事用道路関係	<div data-bbox="398 1198 2107 1331"> 1. 一般道路を搬入路としての使用制限あり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 搬 入 経 路 :</li> <li>・ 期 間 :</li> <li>・ 使用後の処置 :</li> </ul> </div>

明示項目	施工条件
V 工 事 用 道 路 関 係	2. 一般道路の占用 ・ 期 間： ・ 規 制 条 件： ・ 時 間 制 限：
	3. 仮設道路の設置 ・ 工法指定の有無： ・ 用 地 関 係： ・ 安 全 施 設： ・ 工事完了後の「存置」又は「撤去」：
	4. その他
VI 仮 設 備 関 係	1. 仮設備の指定の有無：
	2. 仮設備の条件指定あり
	3. 仮設構造物の転用、兼用あり ・ 工 種： ・ 内 容：
	4. イメージアップあり ・ 内 容：
	5. その他

明示項目	施工条件
Ⅶ 残土・産業廃棄物関係	別紙「建設副産物関係」のとおり
Ⅷ 工事支障物件等	1. 占有支障物件あり（電気、電話、水道、ガス、消火栓） <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：</li> <li>移設、撤去、防護方法等：</li> <li>時期：</li> </ul> 2. 占有物件重複施工あり <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：</li> </ul> 3. その他
Ⅸ 排水工（濁水処理含む）	1. 濁水、湧水処理等の特別な対策あり <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：</li> </ul>
X 薬液注入関係	1. 薬液注入工法あり <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：</li> </ul>
XI その他	1. 現場発生材あり <ul style="list-style-type: none"> <li>品名：</li> <li>納入場所：</li> </ul> 2. 支給品および貸与品あり <ul style="list-style-type: none"> <li>品名：</li> <li>引渡場所：</li> </ul> 3. 品質証明の必要あり 4. その他

## ○材料指定関係

材料名・材料規格については、参考資料で指定している。なお、参考資料の仮設工における数量・材料名・材料規格は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考であるので、指定とはならない。

## ○建設副産物関係

### 1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	備 考
アスファルト	⑤密粒度アスコン（新20FH）	表層	
アスファルト	⑦密粒度アスコン（新20FH）改質Ⅰ型	表層	
アスファルト再生クラッシャーラン	ARC-40（RC混合）	下層路盤材	

### 2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備 考

### 3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土処理は、下記により積算している。

搬	出	先	新潟砂利建設工業		
搬	出	先	地	名	田崎
連	絡	先			
設	計	運	搬	距	離
					L=8.0km
受	入	時	間		
設	計	受	入	費	用
仮	置	場	所	の	有
					無
備		考			

建設発生土改良土プラントへ土砂を運搬処理する場合、上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。

なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

注) 受入先が建設発生土改良プラントの場合、搬出先欄には「プラント」と記載し、搬出先地名、連絡先の欄は記入しない。

### 4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記により積算している。

搬	出	す	る	廃	棄	物	名	アスファルト廃材			
設	計	運	搬	距	離			L=5.9km、L=6.0km、L=5.8km			
受	入	時	間								
設	計	受	入	費	用			1,600			
備		考						単位：円/ t			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。



5. 舗装版切断時の濁水搬出

工事の施工により発生する舗装版切断濁水は、下記により積算している。

設 計 運 搬 距 離			
受 入 時 間			
設 計 受 入 費 用			
備 考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

6. 受注金額が100万円以上の場合は、工事完了後、再生資源利用（促進）実施書のデータを竣工書類に添付（CD-ROM）して1枚提出すること。

ただし、「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」で実施書を作成している場合は、データの提出は不要とする。

7. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、処理委託契約書並びに処分業許可証及び収集運搬業許可証の写しを提出すること。

8. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。